

資料3-2 ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-1		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）			北緯	36° 1' 16.0"			
発注機関					調査期間	令和 3年 12月 6日 ~ 3年 12月 7日		東経	138° 25' 54.2"		
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠	コシゲア 鑑定者	箕輪 誠	ボーリング責任者	円谷 洋司
孔口標高	H=1505m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0°	使用機種	東邦 DO-D
総掘進長	5.45m	度			向			ハンマー落下用具	ハンマー		
								エンジン	YANMAR NFAD-8L		
								ポンプ	東邦 BG-3C		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 ()	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
1504.05	0.95	0.95		黒ボク土	黒灰			含水量は中位。植物根が混入。		1.15	2	2/16	1/8	5/34				
1504.90	0.15	1.10		礫	暗灰			硬質な岩片である。		1.49								
				ローム	黄褐			含水量は少ない、粘性中位。有機物少量混入。φ2~3mm程の小礫・転石が少量混入。		2.15								
								軟らかい、中位		2.45								
1500.95	2.95	4.05		軽石混り砂礫	暗灰			含水量少ない、転石多く混入。φ2~30mm程の角礫・岩くず片混入。		3.15	3	1/6	2/11	6/31				
1500.55	0.40	4.45						安山岩が砂礫状となる。		3.46								
1499.55	1.00	5.45		風化安山岩	暗灰黄褐			GL-4.45m付近よりGL-4.60m付近まで粗砂に風化岩塊を混入する。以深は黄褐色の砂状に風化した岩石。		4.15	28	17/5	50/22					
										4.37								
										5.15	15	15	16	46/30				
										5.45								

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-3		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）					北緯	36° 1' 17.2"						
発注機関						調査期間	令和 3年 12月 7日 ~ 3年 12月 9日			東経	138° 26' 17.4"					
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠		コシゲア 鑑定者	箕輪 誠		ボーリング責任者	糸賀 久直			
孔口標高	H=1460m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	東邦 D1B		ハンマー落下用具	ハンマー	
総掘進長	3.28m		度			向			エンジン	YANMAR NFD-9		ポンプ	東邦 BG-3C			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	室内試験 ()	掘進月日		
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値							
1	0.70	0.70		盛土	暗茶褐色			黒ボク土主体、植物根が混入。GL-0.25m以深、ローム主体。GL-0.50m付近、φ300~500m/m程の軽石が混入。所々に軽石が混入。粒径不均一。全体に所々φ2~60m/m程の垂片・垂角礫が混入。所々少量にφ80~150m/m程の玉石（凝灰岩）が混入。全体に少量ロームが混じる。		1.15	5	8	13	26	30	26				
2	1.45	2.15		雑混じりローム質砂	茶褐色	中位				1.45	19	31	50	20	75					
3	1.13	3.28		強風化砂岩	黄褐~暗青灰	非常に密		全体に風化激しく砂や小礫状になっている。GL-3.00m以深、暗青灰色。		2.35	26	24	50	13	115					
4										3.15										
5										3.28										
6																				

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-4		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）					北緯	36° 1' 20.0"						
発注機関						調査期間	令和 3年 12月 9日 ~ 3年 12月 11日			東経	138° 26' 21.9"					
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠		コ鑑定者	箕輪 誠		ボーリング責任者	糸賀 久直			
孔口標高	H=1464m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 90° 西 東		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	東邦 D1B		ハンマー落下用具	ハンマー	
総掘進長	6.45m		度	0°		向	180° 南		エンジン	YANMAR NFD-9		ポンプ	東邦 BG-3C			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進月日)
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10				
1	1463.00	1.00	1.00	礫混じり砂質ローム	暗茶褐色			上部15cm暗茶褐色の有機質ローム主体。植物根が混入。GL-0.30m~GL-0.50m間、φ150~300m/m程の割栗石が混入。以深、φ3~50m/m程の角礫が混入。		1.15	8	7	6	21				
2	1462.10	0.90	1.90	礫混じりローム質砂	黄褐色	中位		φ5~50m/m程の角礫が混入。全体にローム質である。		1.45								
3	1460.50	1.60	3.50	火山灰質砂質粘性土	黄乳灰	中位		粘性弱い。全体に砂が多く混じる。所々に軽石・スコリアが混入。所々薄層にやや固結している。		2.50								
4	1459.75	0.75	4.25	粘土混じり細砂	黄灰	緩い		粒径不均一。全体に火山灰質。所々少量φ5~15m/m程の礫混入。含水量は多い。		3.15	1	2	3	6				
5	1459.30	0.45	4.70	火山灰質砂質粘性土	灰	非常に硬い		粘性は弱い。全体に固結している。所々にスコリアが混入。GL-4.55m~GL-4.70m間、凝灰岩をコアチューブにて短棒状に採取。		3.45								
6	1458.80	0.50	5.20	火山灰質砂	黄灰			含水量は多い。粒径不均一。所々にφ5m/m以下の軽石が混入。		4.15	1	6	7	14				
7	1457.55	1.25	6.45	玉石(岩屑)混じり砂質粘土	暗灰	固結した		粘性弱い。GL-5.20m~GL-5.40m間、コアチューブにて短棒状にコア採取。全体に砂が多く混じる。所々φ50~150m/mの岩片が混入。		4.45	20	30	1	50				
8										5.15								
9										5.26								
										6.15	12	10	18	40				
										6.45								

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo														
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-5		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）				北緯	36° 1' 10.4"							
発注機関					調査期間	令和 3年 12月 7日 ~ 3年 12月 9日			東経	138° 26' 21.2"						
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠		コア鑑定者	箕輪 誠		ボーリング責任者	円谷 洋司			
孔口標高	H=1462m	角	180°上 90°下		方	北 0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試錐機 東邦 DO-D		ハンマー 落下用具 ハンマー		
総掘進長	7.43m										エンジン	YANMAR NFAD-8L		ポンプ 東邦 BG-3C		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日				
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20			
1	1461.40	0.60	0.60		黒ボク土	黒灰			上部植物根・砂が多い。GL-0.45m~GL-0.50m間、φ150m/m以上の岩片を挟む。粘性帯びる。		1.15	1	2	5	34										
2	1459.85	1.55	2.15		礫混り砂質粘土	暗茶褐	中位		含水量は中位。全体にφ2~20m/m程の岩くず片及び粗砂等混る。GL-1.90m付近より砂多くなる。		1.49	4	9	34	47										
3	1458.25	1.60	3.75		強風化安山岩	暗灰			含水量は少ない。色調不均一。粒子間密にて、岩質特有の粘性帯びる。		2.45	4	6	7	17										
4	1456.75	1.50	5.25		砂質粘土	褐灰			含水量は中位。色調不均一。φ10m/m程の角礫、砂が多く混る。粘性土を主体とする。GL-4.95m~GL-5.25m間、含水量は多い。粘土層を挟む。		3.45	5	5	5	15										
5	1454.57	2.18	7.43		粘土混じり礫	暗黄灰 ~ 暗灰			岩塊と粘土の互層。GL-6.50m~GL-7.00m間、約5cm~15cm位の棒状コアとして採取。GL-7.00mの貫入試料、岩片の間に茶褐色の砂質ロームを挟む。含水量は中位。		4.45	1	8	17	26										
											5.15	2	25	22	49										
											6.15	12	8	8	30										
											6.45	4	6	40	50										
											7.15	4	6	40	50										
											7.43				28										

ボーリング柱状図

調 査 名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo													
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-6	調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）					北 緯	36° 1' 19.4"								
発注機関						調査期間	令和 3年 12月 10日 ~ 3年 12月 10日					東 経	138° 26' 33.4"				
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)	主任技師	石塚 裕司			現場代理人	箕輪 誠	コ 鑑 定 者	ア 箕輪 誠	ボーリング責任者	円谷 洋司						
孔口標高	H=1439m	角	180° 上	90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試 錐 機		東邦 DO-D			ハンマー 落下用具	ハンマー	
総掘進長	5.50m	度			向			エンジン	YANMAR NFAD-8L		ポンプ	東邦 BG-3C					

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験					原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 深 度 (m)	採 取 方 法	室 内 試 験 ()	掘 進 日	
										深 度 (m)	10cm ごと の 打 撃 回 数	打 撃 回 数 / 貫 入 量 (cm)	0	10							20
1	1438.50	0.50	0.50		黒ボク土	黒褐		硬い	含水量は中位。植物根が混入。	1.15	3	7	6	16/30							
2	1437.65 1437.35	0.85 0.20	1.35 1.35		ローム	濁黄灰	中位		含水量は中位。砂分少量混じる。GL-1.00m付近よりφ2~10mm程度の岩くず片混じる。含水量は少ない。約20m/m程度の礫が混じる。	1.45				8/30							
3	1435.90	1.55	3.10		火山灰質粘土	暗茶褐			含水量は中位。GL-1.55mの所、層厚20cm位の軽石層を挟む。全体に若干砂質ローム土優勢。φ5~20mmの小礫等混入。	2.15	2	3	3	8/30							
4	1435.00	0.90	4.00		強風化安山岩	乳緑灰	緩い		含水量はやや少ない。斜行状又はポケット状に暗黄褐色に変色混じる。	3.15	4	3	3	10/31							
5	1434.50	0.50	4.50		安山岩	暗灰			長さ4~15cm位の棒状コア採取。採取率は約70%。所々風化層を挟む。暗灰色が主であるがポケット状に乳黄灰色の軽石が混入。	3.46 4.00	12 6	50		31/50							
	1433.50	1.00	5.50		砂質粘土	暗乳黄灰		軟らかい	含水量が多い。粘性は弱い。全体に浮石・砂分が混入。	5.15	1	2	1	4/35							
										5.50											

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNo

ボーリング名	No. B-7		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）			北緯	36° 1' 22.0"							
発注機関					調査期間	令和 3年 12月 10日 ~ 3年 12月 10日		東経	138° 26' 41.4"						
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠	コ鑑定者	箕輪 誠	ボーリング責任者	酒寄 雅斗				
孔口標高	H=1429m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	KANO KR-SH-2	ハンマー落下用具	ハンマー	
総掘進長	3.02m						エンジン	YANMAR NF80-L		ポンプ	KANO V-6				

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験	試験名および結果	採取方法	室内試験 ()	掘進月日			
										深 度 (m)	10cm 打撃回数	10	20	30							貫入量 (cm)		
1428.40	0.60	0.60		黒ボク土	暗茶〜暗茶褐色			GL-0.00m~GL-0.30m間、暗茶色の黒ボク土主体。全体砂及び植物根が多く混入。GL-0.30m以深、暗茶褐色の砂混じりローム主体。粘性中位。全体砂が多く混入。色調不均一。		1.15	7	7	5	19	30	50	2	19					
1427.30	1.10	1.70		火山灰質粘土	暗茶褐色	非常に硬い		含水量は中位。粘性強い。全体に砂が多く混入。		1.45	50	2						750					
1425.98	1.32	3.02		安山岩	暗灰			ハンマー打撃にて容易に割れない。コアチューブにて短棒状にコア採取。掘削時間1m=2時間半。		3.00	50	2						750					
										3.02													

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-8		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）					北緯	36° 1' 30.3"						
発注機関						調査期間	令和 3年 12月 7日 ~ 3年 12月 9日			東経	138° 26' 50.4"					
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠		コ鑑定者	箕輪 誠		ボーリング責任者	酒寄 雅斗			
孔口標高	H=1410m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試錐機 KANO KR-SH-2		ハンマー落下用具	ハンマー	
総掘進長	5.45m		度			向			エンジン	YANMAR NF80-L		ポンプ	KANO V-6			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 ()	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)						
1	1.50	1.50		盛土	暗茶黄			GL-0.00m~GL-0.30m間、暗茶色黒ボク土主体。GL-0.30m間以深、黄褐色の礫混じりローム土主体。粘性中位。全体にやや小礫混入。	12/9 3.20	1.15	1	2	30					
2	1.50	3.00		火山灰質粘土	暗茶褐	中位	非常に硬い	含水量は中位。粘性は弱い。全体に砂粒が多く混入。GL-3.00m以深、少量の岩くず混入。		1.45	2	3	7					
3	1.40	4.40		凝灰岩	暗茶褐			GL-3.90mにも500m/mの転石が混入。岩種は安山岩で、亀裂を無数に有する。ハンマー打撃にて割れる。		2.45	10	5	17					
4	1.05	5.45		凝灰岩	黄灰	固結した		ハンマー打撃にて割れる。GL-4.40m付近からコアチューブにてコア状に採取。GL-4.60m付近、褐色を示す。GL-5.25m付近から10cm間、破砕激しくやや粘性混じる。		3.45	38	12	50					
5										4.15								
6										4.33								
7										4.45								
8										5.15	12	18	48					
										5.45								

ボーリング柱状図

調査名 八ヶ岳カントリー地質調査

ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. B-9		調査位置	長野県南佐久郡南牧村海尻（八ヶ岳カントリークラブ）				北緯	36° 1' 15.5"							
発注機関					調査期間	令和 3年 12月 6日 ~ 3年 12月 7日		東経	138° 26' 52.2"							
調査業者名	株式会社 アースデザイン 電話 (029-291-5475)		主任技師	石塚 裕司		現場代理人	箕輪 誠		コア鑑定者	箕輪 誠		ボーリング責任者	酒寄 雅斗			
孔口標高	H=1413m	角	180° 上 90° 下		方	北 0° 270° 90° 西 東		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		使用機種	試錐機 KANO KR-SH-2		ハンマー落下用具	ハンマー	
総掘進長	7.05m		度	0°		向	180° 南		エンジン	YANMAR NF80-L		ポンプ	KANO V-6			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進				
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量	深	試験名					深	採取	採取	
(m)	(m)	(m)	(m)					事	(m)	0	10	20	30	(m)	(m)	番号	方法	(m)	日		
1	1.80	1.80		盛土	暗茶～茶褐色～暗黄灰	非常に硬い		GL-0.00m～GL-0.30m間、暗茶色の黒ボク主体。全体砂及び植物根が少量混入。 GL-0.30m～GL-0.50m間、茶褐色の礫混りローム主体。全体φ2～3mm程度の小礫やや多く混入。 GL-0.50m以深、火山灰質粘土主体。粘性は弱く、全体砂が非常に多く混入。茶褐色。 GL-1.25m以深、暗黄灰色。	1.15	8	8	9	25/30	25							
2	3.00	4.80		火山灰質粘土	黄褐色	固結した硬い～中位		含水量は少量、粘性は弱い。全体に砂及びスコリアが多く混入。 GL-1.90m～GL-2.10m間、暗灰色が狭帯。その部分含水量中位。 全体的に軽石が多く混入。 GL-2.10m以深、暗黄褐色。 GL-4.25m以深、乳褐色となり、含水量多く粘性中位。 GL-4.40m付近、φ25mm程度の軽石が混入。 GL-4.70m付近からGL-4.80m間、軽石が混入する。	2.15	13	11	9	33/30	33							
3	2.25	7.05		安山岩	暗灰			含水量は多い。角礫状に風化している。全体的に破碎しておりコア状にならず掘削により割れる。 GL-6.00m付近淡黄灰色。 GL-6.80m以深、暗灰色。 コアチューブにてコア状に採取。ハンマー打撃にて割れる。	3.15	3	3	3	9/30	9							
4									3.45												
5									4.15	2	2	2	6/30	6							
6									4.45												
7									5.15	5	11	15	31/30	31							
8									5.45	50			50/6	250							
									6.00	6			50/6	300							
									7.00	5			50/5								
									7.05												